

『大崎町戦没者ならびに消防殉職者追悼式』

11月11日(火)、都萬神社の境内にある町慰霊塔で『大崎町戦没者ならびに消防殉職者追悼式』が行われ、国歌斉唱ならびに国旗掲揚のあと、ご英霊に対し黙とうが捧げられました。

東靖弘町長は式辞のなかで「町民の生命・財産を守るため消防任務の最中に、その尊い命を捧げられた勇氣と使命感、崇高な精神は今なお我々の模範となっています。また、世界に類を見ない平和国家を築き、今日の繁栄と平和がもたらされた陰には、戦没者の尊い犠牲があったことを私たちは決して忘れません。」と述べました。



『ビーチクリーンアップキャンペーン!』

11月15日(土)、毎年恒例の『ビーチクリーンアップキャンペーン』が益丸海岸で実施され、中国から研修のために大崎町に来ている中国人研修生13人を含め、約100人が参加しました。

これは、単にゴミを拾うだけでなく、散乱するゴミの量、種類、分布などをデータカードに記入していくというもので、調査はゴミを拾う人とチェックする人がペアになって行われました。特に目立ったゴミは、ペットボトルや空き缶、プラスチック破片などで、わずか2時間ほどの作業で120袋にもなるゴミの山ができました。

集められたデータの結果は、漂着・散乱ゴミ問題の改善に向けた提案などに生かされます。参加された皆さん、ありがとうございました。

『手作りの秋の甲子園!』

11月8日(土)、快晴の秋空のもと、有明高校野球部グラウンドで『有明高校創立60周年記念招待野球大会』が行われ、鹿児島工業高校野球部と西日本短期大学付属高校野球部(福岡県)、有明高校野球部の選手が熱戦を繰り広げました。

鹿児島工業高校と有明高校との試合は、有明高校の2点先取から始まり、1点を争う好ゲームに、応援に駆けつけた生徒や同窓会、地元小中学生、近隣住民から声援が送られていました。有明高校野球部の上園泰王主将は「創立60周年という記念すべき年に、このような最高の招待野球大会が開催されたことをうれしく思います。一生の思い出です。準備から運営まで先生方や保護者会の皆さまに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。」と話していました。

